

第1回「公共建築の日・公共建築月間」を振り返って

国土交通省大臣官房営繕計画課特別整備企画室

「公共建築の日・公共建築月間」(毎年11月11日および11月の1カ月間)の創設については、本誌2003年11月号にて紹介いたしました。

第1回目となった今年度は、中央はもとより、全国各地で関連行事が開催され、盛況のうちに無事終了しました。本稿では、今年度行われた主な公共建築の日関連開催行事を紹介いたします。



中央イベントでの関連行事 主な関連行事

11月11日に、「生きる公共建築、生かす公共建築」と題して、ホテル・ルポール麹町において、公共建築の日記念シンポジウムが開催されました(写真 1)。



写真 1 中央イベント パネルディスカッションの様子

川上格実行委員会会長が開催の宣言をした後、「公共建築の日、公共建築月間が、公共建築と国民とをつなげるインターフェイスとして、一層活発となるように祈念する。」との石原伸晃国土交通大臣の祝辞が春田浩司国土交通省官庁営繕部長によって代読されました。

その後、鈴木博之氏(東京大学大学院教授)と安藤忠雄氏(建築家・東京大学名誉教授)それぞれから公共建築の役割についての基調講演がありました。

「これからの公共建築」と題した鈴木氏は、「特に、公共建築は一般の建築より、場所の性格を意識し、時代を形成できる建築であるべきではないかと思う。流行の時代であるからこそ、不易な建築を念頭に置いて、時代をつくっていただきたい。」と述べ、「私と公共建築」と題した安藤氏は、「公共建築は安全、安心でかつ美しく魅力的でなければならないし、それを成長させていくのは市民の力だと思う。今はコストが最優先となっているが、もう少しゆとりのある建築をつくっていかないと、西洋のように残り続けてい

くものはできない。世界中の子供たちが建築を見て育っていくわけだから、そういう面ではわれわれに大きな責任が課せられている。」と述べました。

続いてパネルディスカッションが開かれ、シンポジウムテーマに掲げられた公共建築の役割についてパネラーそれぞれの考えを紹介しました。



各地方ブロックでの 主な関連行事

北海道ブロックではカメラ付携帯電話による写真コンテストが開催され、グランプリ1点、特別賞2点が選ばれました（写真 2）。

また、くじで引き当てたテーマについてその場で考えをまとめて発表するという形式の「トークセッション 人、自然、文化と公共建築について考える」が開催されました。

近畿ブロックでは、「伝統技能 in KYOTO」が

写真 3 近畿 京都工房めぐりの様子
（京建具「ひし格子」の説明の様子）



京都市勧業館において開かれました。同イベントでは、2005年に完成予定の京都迎賓館に活用される左官や建具、表具など、日本の伝統的な建築技能や伝統工芸のパネルなどが展示されたほか、工房を実際に訪れ、伝統技能に実際に触れてもらう工房見学会も実施されました（写真 3）。

その他、各地方自治地体独自の主催による関連行事も開かれました。



北海道 カメラ付携帯写真
コンテストグランプリ
「夜金森」（函館 金森赤レンガ倉庫）

特別賞「修学旅行」（JR
札幌駅）



特別賞「木陰の旧事務所」
（札幌 北海道農業研究センター
旧事務所）



写真 2

福島県では、「ともに考え、ともに
つくる公共建築」と題してシンポジウムが開かれ、長澤悟氏（東洋大学教授）の基調講演のほか、利用者参加型ワークショップを通じた施設整備（郡山養護学校等）に関するパネルディスカッションが行われました。

東京都では、「財務局技術発表会」において、公共建築の日が創設された記念行事の一環として、青木茂氏（建築家）より「リファイン建築」と題した特別講演がありました。

神奈川県では、「親しまれる公共建築とは」と題して、山崎洋子氏（作家）、吉田鋼一氏（横浜国大学院教授）の講演や、パネルディスカッションが開かれました。

静岡県では、「公共建築はみんなの

表 1 平成15年度 第1回「公共建築の日」関連行事 とりまとめ (H15 .12 .1現在)

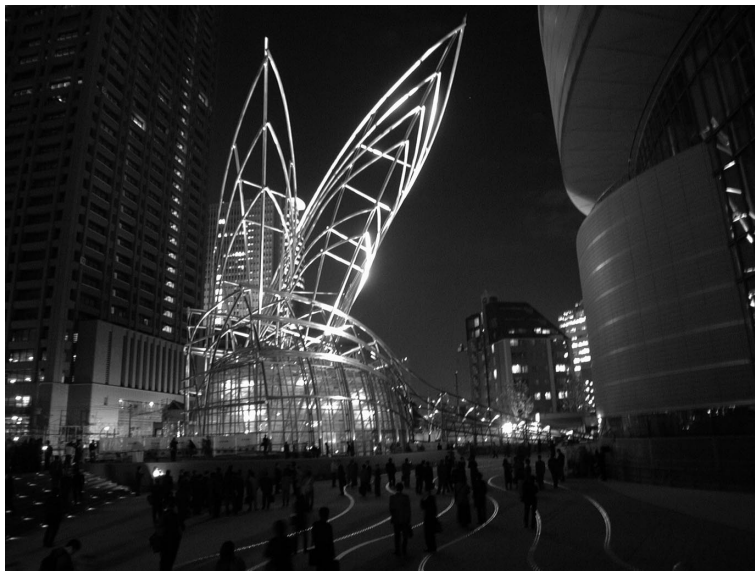
開催 ブロック	月	日	イベント内容	開催場所	主催者	参加人数 (人)	備考
中 央	11	11	記念講演会・シンポジウム「生きる公共建築, 生かす公共建築」 記念講演: 鈴木博之氏(東京大学大学院教授) 安藤忠雄氏(建築家・東京大学名誉教授) パネルディスカッション コーディネーター: 鈴木博之氏 パネリスト: 安藤忠雄氏 見城美枝子氏(青森大学教授・エッセイスト) 白幡洋三郎氏(国際日本文化研究センター教授) 福島七郎氏(東京都財務局建築保全部長) 奥田修一氏(国土交通省大臣官房審議官)	ホテル・ルポール 麹町(麹町会館) 2階 ロイヤルク リスタルの間	実行委員会	470	申込み総 数 700
	11	14	施設見学会 東京藝術大学奏楽堂 14:00~16:00 学内演奏会鑑賞 16:00~17:00 奏楽堂施設案内	東京藝術大学奏楽 堂	実行委員会	114	
	11	16	施設見学会 国際子ども図書館 10:30~12:00 国際子ども図書館館内及び館外見学	国際子ども図書館 (小学4~6年生 の児童と保護者同 伴対象)	実行委員会	51	
北 海 道	11	10/30 ~ 11/5	フォトコンテスト(モバイルP1グランプリ) カメラ付携帯電話による写真コンテスト テーマ: 人, 自然, 生活, 文化と公共建築 賞: グランプリ賞1点, 特別賞2点	札幌駅地下街 「アピア」内ライ ラックホール	(社)公共建築協 会	延べ769	応募 作品 58点
	11	13	トークセッション 人, 自然, 生活, 文化と公共建築について考える 進行役: 林美香子氏(フリーキャスター) パネリスト: 遠藤清一氏(忠類村長) 逢坂誠二氏(ニセコ町長) 小林英嗣氏(北海道大学大学院教授) 中島興世氏(恵庭市議会議員)	ホテルポールのス ター札幌2階 ポ ールのスターホ ール	(社)公共建築協 会	157	
東 北	11	11	「公共建築フォーラム2003」 in どうほく ~「公共建築の日」&「公共建築月間」創設にあたって~ 第1部: 講演会/阿部仁史氏(東北大学大学院教授) 第2部: 営繕技術フォーラム ・作品プレゼンテーション ・ラウンドテーブルディスカッション 同時開催: パネル展	仙台メディアテ ーク1階 オープ ンスクエア	東北ブロック営 繕主管課長会議	130	
	11	18	公共建築フォーラム 「~とともに考え, ともにつくる公共建築~」 パネルディスカッション: 長澤 悟氏(コーディネーター, 東洋大学教授) 渡部和生氏((株)准建築計画 郡山養護学校設計者) 五十嵐徹氏((株)J.R.建築アトリエ 平養護学校設計者) 斎藤久男氏(郡山養護学校校長) 小林清貴氏(ネオパワ工務店 郡山養護学校施工者) 渡辺光司氏(福島県営繕グループ参事)	コラッセふくしま	福島県公共建築 連絡会議	157	
関 東	11	4~9	絵画作品展「小学生から見たさいたま新都心の作品展2003」 (・絵画・作品展示・絵画審査会・表彰式・パネル展示・パンフレット)	さいたま新都心合 同庁舎1号館 インフォメーシ ョンセンター	関東地方整備局 営繕部	参加18校, 絵 画671点, 総 合学習成果11 点36作品表彰	
	11	4	横浜税関本関完成記念講演会 2003横浜まちづくりフォーラム ~歴史的建築物の保存・活用のあり方~ 講師 坂本勝比古氏(神戸芸術工科大学名誉教授) 香山壽夫氏(香山壽夫建築研究所所長)	横浜市開港記念会 館講堂	関東地方整備局 営繕部	173	
	11	10~14	各種記念行事 講習会(公共団体の積算担当者対象)11月10, 11, 13, 14日 講演会(11月12日) 若松 準氏(佐藤工業(株)総合研究所主任研究員) 佐藤隆良氏((株)サトウファシリティアーズコンサルタンツ)	(財)建築コスト管 理システム研究所 会議室	建築コスト管理 システム研究所 会議室	50	
	11	13	シンポジウム「親しまれる建築とは」 講演会・対談 山崎洋子氏(作家) 吉田綱市氏(横浜国立大学大学院教授) コーディネーター 三杉三郎氏(神奈川県総務部参事) ・会場にてパネル展示	横浜市開港記念会 館講堂	神奈川県官公庁 営繕協議会(神 奈川県及び県内 26市町・国土交 通省 関東地方 整備局横浜営繕 事務所から構 成)	160	
	11	21	東京都財務局技術発表会 技術発表 8作品(15:05まで) 特別講演 15:10~16:30 青木 茂氏(建築家)	東京都庁議会棟1 階 都民ホール	東京都	360	
北 陸	11	26	シンポジウム 「今後の官公庁施設保全のありかたについて 長期使用への挑戦 “たてもの なが~く たいせつに”」 講演とパネルディスカッション コーディネーター 村上周三氏(慶応大学教授) パネリスト 鬼沢浩志氏(国土交通省大臣官房官庁営繕部保全指導室長) 古橋秀夫氏((社)全国ビルメンテナンス協会専門委員) 西村善治氏(東日本電信電話(株)不動産企画室長) 末宮辰雄氏(東京都建築保全部計画保全課長)	東條インベリアル パレス	建築保全センタ ー	150	
	11	27	「小松日の出合同庁舎について語る」座談会 森 俊偉氏(建築家・金沢工業大学教授) 竹島博文氏(北陸税理士会コマツ支部長) 土用下茂氏(小松駅東地区まちづくり協議会代表) 藤田 勝氏(小松市都市建設部長) 林 一夫氏(金沢国税局小松税務署長) 森本文忠氏(北陸地方整備局営繕部長) 薄田球一氏(北陸地方整備局営繕部設計課建築設計係長) 吉田 弘氏(司会:北陸地方整備局営繕調査官)	ホテルサンルート 小松2階 クイ ーンズルーム	実行委員会		

開催 ブロック	月	日	イベント内容	開催場所	主催者	参加人数 (人)	備考
中 部	11	10	記念研修演会「公共建築はみんなのもの」 住民との協働を実践した公共建築(事例発表) (焼津市総合福祉会館・月見の里学遊館・澤野医院記念館) 講演:「いつも何かにとどめいていよう」(藤田弓子氏(女優))	静岡県男女共同参画センター 「あざれあ」	静岡県公共建築推進協議会(静岡県・20市・6町で構成)	251	
	11	14	記念シンポジウム「公共建築を考える」 ～安全・安心な公共建築を目指して～ 基調講演:久保哲夫氏(名古屋工業大学大学院教授) パネルディスカッション: 福和伸夫氏(コーディネーター,名古屋大学大学院教授) 笠嶋淑恵氏(建築家) 植村正氏(静岡県都市住宅部営繕総室室長) 田島邦彦氏(愛知県建設部公共建築課長) 小林一彦氏(三重県総務局営繕チームマネージャー) 椋平健氏(中部地方整備局営繕部計画課長)	ウィルあいち4階 ウィルホール (愛知県女性総合センター)	実行委員会 (中部ブロック)	298	
近 畿	11	22	堺の「顔」づくりを考えるフォーラム ～これからのまちと公共建築～ 講演 増田 昇氏(大阪府立大学大学院教授) 市民からの提案「堺東をもっとおもしろくするために」 コーディネーター 石浦邦章氏(大阪府立大学大学院生) パネルディスカッション 「市民が集い、交流する堺東のあり方」 増田 昇氏 山本 久氏(堺市自治連合協議会会長) 大町むら子氏(堺市女性団体協議会副委員長) 石浦邦章氏	堺市総合福祉会館 6階ホール	堺の「顔」づくりを考えるフォーラム企画検討委員会	190	
	11	24・25	伝統技能 in KYOTO 京都迎賓館(仮称)における伝統技能の紹介 展示 1.11種類(大工・左官・建具・表具・畳・錆・漆・截金・庭園・石造工芸・竹垣)の伝統技能の紹介 2 京都迎賓館(仮称)の紹介 3 公共建築の施設紹介 工房めぐり 京都迎賓館(仮称)で活用される伝統技能の中から、公開に協力いただいた工房を訪ねる見学会。 (建具・表具・畳・漆・庭園・石造工芸・竹垣)	京都市勤業館(みやこめっせ) 地下1階 特別展示場A面	近畿地方整備局 (共催:京都市・京都市)	延べ437	
		27～29		各工房			150
	11	26	公共建築とまちづくりフォーラム2003 in 大阪 第一部(13:30～17:00) 講演 光井純氏(シーザー・ペリアンドアソシエーツジャパン(株)代表) パネルディスカッション コーディネーター:山崎泰孝氏(近畿大学教授・建築家) パネリスト:大谷幸夫氏(建築家・東京大学名誉教授) 永井芳和氏(読売新聞大阪本社文化部長) 光井 純氏 清水豊和氏(近畿地方整備局営繕部長) 第二部(17:30～18:00) 国立国際美術館(施工中)ライトアップ点灯式	第一部 大阪YMCA会館2階 YMC Aホール 大阪市西区土佐堀156 第二部 国立国際美術館 建設現場(第一部会場より徒歩5分)	近畿地方整備局	310	
中 国	11	9	施設見学会 山口県:旧県会議事堂保存修理工事 10:00～15:00	山口県庁内	実行委員会 (中国ブロック) 協力支援会議 (中国ブロック)	100	
	11	15	施設見学会 島根県:松江合同庁舎 10時,13時,15時の3回 所要時間約1時間		実行委員会 (中国ブロック) 協力支援会議 (中国ブロック)	140	
	11	23	施設見学会 鳥取県:鳥取県警察本部庁舎,鳥取県庁舎(耐震改修) 13:30,15:00の2回 所要時間約40分		実行委員会 (中国ブロック) 協力支援会議 (中国ブロック)	70	
四 国	11	5～11	パネル展示	高知県庁本庁玄関ホール	高知県土木部 建築課		
	11	10～13	パネル展示	JR高松駅コンコース	公共建築協会 四国地区事務局	延べ400	
九 州 ・ 沖 縄	10	29	都城シビックフォーラム(公共建築月間イベント) 「みんなで語るまちづくり・都城」 基調講演 南條道昌氏(都市計画設計研究所代表取締役) パネルディスカッション 大久保浩文氏(大久保計画アトリエ代表取締役) 漆島和子氏(都城まちづくり会社) 加治屋孝一氏(西駅地区整備推進協議会会長) 野村修氏(九州地方整備局営繕部長) 樋口栄作氏(都城工業高等専門学校教授) 三角光洋氏(都城市土木部長) 村岡義明氏(千日通り商店街振興組合副理事長)	メインホテル5階 メインホール	九州地方整備局 ・都城市	300	
	11	11	九州営繕フォーラム2003 第一部 九州地方整備局営繕部の事業に関する討論 第二部 公共建築の設計における営繕技術職員と設計事務所の役割	第5博多備成ビル 10階会議室	九州地方整備局		
	11	11～14	沖縄公共建築パネル展 沖縄総合事務局・沖縄県,那覇市による施策・公共建築関連事業等を紹介する合同パネル展示	沖縄県庁舎(1階 県民ホール)	実行委員会	延べ383	

写真 4 関東 さいたま新都心の絵画展



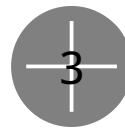
写真 5 近畿 国立国際美術館ライトアップ点灯式



もの」と題した，記念研修会が開かれ，住民との協働による公共建築の整備事例として，焼津市総合福祉会館，袋井市月見の里学遊館，袋井市澤野医院記念館の3施設について意見交換会および藤田弓子氏（女優）の講演会が行われました。

誌面の都合で割愛させていただきますが，上記で紹介した行事以外にも，全国でさまざまな関連行事が開催されています。

写真 6 共通ポスター



3 今後に向けて

今年度は，公共建築の日創設第1回目ということもあり，公共建築の日を広く知ってもらうために，共通ポスターを作製し，国・地方公共団体等の協力を得て，各施設で掲示するなどして広報活動に努めました。また，全国各地の取り組みについて本誌および各種機関誌等で紹介し，また，期間中は，専門紙をはじめとしたマスコミ等に取り上げられました。

公共建築の日としての取り組みは，まだ始まったばかりですが，これからも毎年，国民の皆さんが公共建築について従来より身近に感じることであり，公共建築に対する意識が高まり，公共建築を通じたまちづくり，地域づくりについて考えるきっかけとなるような記念行事を開催していきますので，国・地方自治体等の担当者のご支援・ご協力をお願いするとともに，広く一般の皆様が，関連行事へ積極的に参加することを希望いたします。

「11月11日は
公共建築の日」

国民生活に一番密着した，より良い公共建築を目指すため，「公共建築の日」が創設されました。

建築の基本的な構造を象徴する4本の柱のイメージと，国会議事堂の完成（昭和11年11月）などから，11月11日が「公共建築の日」となりました。

そして11月11日は「公共建築月間」です。

シンポジウムをはじめさまざまな記念行事を実施いたします。

庁舎、県庁舎、市庁舎、市庁舎、村役場、警察署、消防署、保健所、公共職業安定所（ハローワーク）、研究所、会議場など

図書館、美術館、博物館、資料館、記念館、市民ホール、音楽ホール、公園、動物園、博物館、美術館など

幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、大学、病院、体育館、武道館、老人ホーム、公民館、青年の家、保養所、駅、自動車駐車場など

主催：「公共建築の日」及び「公共建築月間」実行委員会
 （社）公共建築協会 （財）建築保全センター （財）建築コスト削減システム研究所 （社）文庫設備協会
 後援：国土交通省 文部科学省 法務省 全国知事会 全国市長会
 （社）日本建築学会 （社）日本建築家協会 （社）日本建築士会連合会 （社）日本建築士事務所協会連合会
 （社）建築家協会 （社）日本建築工業協会 （社）日本建築衛生工業協会 （社）建築環境・衛生工学
 （社）日本建築設計事務所協会 （社）建築設備技術者協会 （社）建築電気技術協会 （社）電気設備学会